

かみしょう

上本部小学校PTA新聞
平成30年度No.2
発行元
上小PTA広報部
発行責任者
PTA会長 具志堅洋平
発行日
平成30年12月25日

未来に響け！上小っ子の グッジョブ！



10月24日、6年生は職場見学を行いました。事前学習では、『働く』ことの意義を考え、礼儀やマナーについても学び『自分自身』についてみつめなおす機会となりました。職場見学に参加した児童の声を紹介します。

『美ら海水族館飼育』は、この職場見学を通して、人と関わっていく上で「反応する」「聞かれたら答える」などのコミュニケーションが大切だと感じました。コミュニケーションなど職場見学で学んだことを日常の生活から意識して大人になるまでに行き届かせるようにしていきたいです。

『本部牧場』私は本部牧場に行き、牛を育てるために、子牛の体調を毎日確認しえさも牛によって分けて作っていたり、と牛を育てるのはすごく大変な事だと思いました。また、子牛に怪我をさせないように見守ってあげ、小さく産まれた牛や体が弱く産まれた牛を大きくする努力がすごいなと思いました。もし、私がこの職業に就いた時には、何事にも挑戦していきたいです。

『本部町役場』私は、本部町役場企画政策課の仕事は、みんなが見て、「おもしろそう」「本部町ってこんなところなんだ」と興味をもってくれるように書く仕事だということを感じました。また、誰が見ても分かりやすいように、関連しているところを近くに配置したりして、レイアウトを工夫していることがすごいなと思いました。私も将来、こういう記事を書くことになったら読む人をひきつ



けるように工夫して書きたいなど感じました。

『アモーレ』

職場見学を通して、たくさん学んだことを学ぶことができた。とても嬉しかったです。これからも、お客さんとのコミュニケーションを大切にしていきたいことを知りました。そのほかにも、新商品を開発するのには3年かかると聞いて驚きました。しかし、新商品を開発せずにいると他のお店と同じケーキを作っても売れないという厳しい現実も知ることができました。なので、aitoを開く時には、新商品を開発する時間を大切にしたいと思いました。



『空の救急箱』私は空の救急箱を見学して、獣医師が病気を治すだけではなく、犬・猫の正しい飼いやペットについていろいろな事を教えてくれたりして、動物や人に優しい動物病院だと感じました。また、メンターさんの動物への愛が横から見学していて、とても伝わってきました。獣医師になるためには、何よりも動物が好きで大切であり、動物の病気を治したいという強い心が必要だと思いました。私も動物たちの飼い主さんに感謝してもらえそうな獣医師になりたいです。

他にも、『山田クリニック』『宇根自動車』『FMもじゅ』

『本部漁協組合』『ローソン浦崎店』『ゆいとびあ』『アイウェルズコンサルトイング』へ職場見学に行きました。

各職場のスタッフの皆様、送迎をされた保護者の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。

職場見学を通して、子供達もまた一つ成長できたと思います。今回得た経験も含めて、将来の夢、今後の目標について御家族で話し合ってみてくださいね。

多様な成果へ！もとぶつ 子夏休み地域学習教室

8月 月々金曜日 7時半～9時半、10時半～12時 受講料無料 自由参加
主に夏休みの宿題や1学期の復習を、学推教師の個別指導で習熟度に合わせた学習しました。

子ども達の予想以上の参加があり、公民館に集まる子ども達をきっかけに、体験や食事提供など各区分で様々な取り組みがなされました。

具志堅区では流しそうめん会を開催。色んな具材も流し、親子の笑い声が公民館に響き頑張った子ども達への激励とお楽しみの場になりました！

H30年度・全17日開催
謝花 87人・具志堅 71人
新里 46人・備瀬 97人
豊川 208人



暑い活動に感謝！ 上小PTA

文化部 部長1年目 仲宗根広美

文化部では夏休み親子制作に向け部会を開き、今年度の取り組みを企画。参加人数や開催場所、講師の依頼、それぞれのご家庭で喜ばれる製作メニュー探しなど課題がたくさん。



そんな中もとぶつ気村の文化体験プログラムを知り、事前に内容を紹介し参加を募り開催。参加は47世帯約100名で、①シーサー②Tシャツ③バックと3種類から選び製作を楽しみました。



開催日：平成30年8月9日(木)
場所：もとぶつ元気村にて



環境整備部 部長5年目 謝花哲也

環境整備部では、全体のPTA作業以外に部員のみ草刈り作業、運動会の裏門駐車場の草刈りを行っています。草刈り機や軽トラを持ち込み協力くださる方もいて助かります。8月31日の全体PTA作業の参加世帯は参加世帯は46世帯。今後ともよろしくお願ひします。



登録済み？ 上小安全安心メール！

現在、約9割の世帯の登録となっています。急な連絡、いざというときの確認に便利です。登録がまだの方や携帯電話の機種変更などで再登録が必要な方へ、改めてご案内します。送信不可のアドレスもありませんので、再度ご確認ください。



写真がてんこもり！ 上小ホームページ

皆さんは『校長便り』をカラーで見ることができるのをご存知ですか？なんと1～34号(12月11日現在)まで掲載されています。これまでお便りではごく一部の情報や写真でしたが、今年からHPが開始して、写真も多く、より充実してきました。PTA活動や生徒の体験活動の様子、PTA新聞H30年度No.1号や、上小中一貫開校準備委員会便り、本部町人間力向上推進委員会便りも掲載されています。

今後より良い情報の紹介ができるよう工夫して取り組んで参りますので、是非ご覧ください。
<http://kaminotoh-e-town.motobu-okinawa.jp/>



上小親子レクの輪

1年☆ミニ運動会

9月9日(日)、上本部小学校体育館にてミニ運動会を開催。

かけっこ玉入れ、五色綱引き、二人三脚を赤組・白組に分かれ親子そろって対決をしました。

かけっこ玉入れでは逃げ回るカゴを追いかけ、五色綱引きではチームで作戦を立て頭と体力で勝負し、最後は親子で力を合わせ二人三脚と、児童・父母が参加し大変盛り上がりました。

全てが初めての体験でしたが、助け合いながら笑顔が絶えず和気あいあいと楽しい会となりました。(高安)



2年☆親子ゲーム大会

11月3日(土)に、上本部小学校体育館にて、2年生の親子ゲーム大会が開催されました。雨で、天候が悪い中、生徒31人、大人の方34人が参加しました。生徒と大人に別れてのドッジボールはかなり白熱し、親子が本気で競い合う事が出来て、とても貴重な体験をしました。(宮里)



3年☆親子ゲーム大会

11月11日(日)に上小体育館で親子ゲーム大会がありました。

フルーツバスケットでは鬼になった2人が考えながらお題を出してみんなが椅子の取り合いを頑張りました。その後のドッジボール、子供の本気度が凄かったです。

でも、親子で楽しむ姿は笑顔いっぱい。とても楽しい時間が過ごせました。(照屋)



4年☆ボウリング大会

7月28日(土)、名桜ボウルにてボウリング大会を開催。

親子でペアを組みボウリング対決をしました。夏休み中にも関わらず、ほとんどの児童・保護者が参加し大変盛り上がりました。

初めてボウリングを体験する子も多く、親や友達に教えてもらいながら歓声や笑顔が絶えずとても楽しい会となりました。(高安)



ドキドキ挑戦 宿泊学習(5年生)

10月18、19日の2日間、5年生は『名護青少年の家』へ宿泊学習に行きました！

台風の影響から、予定されていた山登りは中止になってしまいましたが、子供たちは火おこし体験やカレー作りなどを通して、仲間と協力してやり遂げることの喜びを感じたようです。

みんなで入るお風呂が恥ずかしかった？など、ドキドキワクワクが詰まった2日間。

「元気に帰ってきた子供たちの笑顔に、ほっと一安心すると共に、頼もしさを感じることができました！」



(福井)

大舞台を体験 上本部ドジャース

チームとの試合から、習得したものを今後に向けて、頑張っていきます。ご協力してくださいました皆様、心より御礼申し上げます。

●JALカップ第7回全九州学童軟式野球大会出場

●第6回本部地区健全育成軟式学童野球大会【優勝】

部員 1年1名2年4名3年2名4年6名5年7名6年7名計27名

練習日：月・水休み 火、木、金、土、日(練習試合)

場所：謝花グラウンド

去った8月17日から8月21日に福岡県久留米市(活動報告 Facebook)

で開催されました『JALカップ第7回全九州学童軟式野球大会』に際し、皆様に協力があり、無事出場を果たし帰還することができました。本土の強豪(渡久地)



本部町童話・お話意見発表大会



低学年の部

「練習が大変だった」と言う1年生の宮坂南穂さん、大きな声で堂々と発表できました。

「怖いと感じるほど緊張した」と言う3年生の高良あゆみさんは、登場人物像をしっかりと、雰囲気よく出ていました。

二人とも一生懸命練習した事が伝わる素晴らしい発表でした。(照儀)

報告会から見る 今年の上本部校区！

上本部校区人間力向上推進委員会の実践発表会が12月5日開催。5・6年生の実演で英語学習の発表、謝花地区子ども会の活動を佐藤千絵子さんが発表し、中学生による海外留学体験の報告がありました。

この発表会の資料には、学校の教育方針や児童生徒の各大会や検定など本年度受賞事項が紹介され励みとなっています。(仲村)

高学年の部

5年河住夏実さん、6年具志堅詞音さんが発表しました。

緊張したかと思いますが、自分の思いを自分の言葉でしっかりと声の強弱、身ぶり、表情をつかって表現していました。堂々とした発表に聞き手もひきこまれ、その姿に子供達の成長を感じました。(松崎)

